

令和4年度 宮城県試験研究機関評価委員会
第1回 工業関係試験研究機関評価部会

研究課題に係る評価部会実施結果

1 評価部会委員

評価部会委員名	所属・職名等	摘要
澤田 恵介	独立行政法人国立高等専門学校機構仙台高等専門学校 校長	部会長
赤羽 優子	株式会社ティ・ディ・シー 代表取締役社長	副部会長
蛭名 武雄	国立研究開発法人産業技術総合研究所 東北センター 所長	
阿部 賀寿男	株式会社阿部蒲鉾店 代表取締役社長	
佐浦 みどり	有限会社東北工芸製作所 常務取締役	
菅野 直	バイスリープロジェクト株式会社 代表取締役	

2 評価対象課題

(1) 重点的研究課題の事後評価

評価対象課題名	概要	実施期間	予算額	摘要
(イ) 清酒製造技術の高度化	県産清酒の高品質化および多様化を目的に、現在当センターで配布している酵母株から優良株の再取得を行うとともに、令和元年度に品種登録された「今のいろは」の普及と県内産酒造用原料米の酒造特性等について調査を行う。さらに、これまでの酵母開発でカバーできていない酒質を目指した新たな酵母の開発を行う。	令和元年度から 令和3年度	2,896千円	事後評価

(2) 重点的研究課題の事前評価

評価対象課題名	概要	実施期間	予算額	摘要
(イ) 外観検査DXに資するAI画像処理デジタル技術開発と産業応用	ものづくり県内企業では、外観検査を熟練技術者の目視検査に頼っているが、少子高齢化及び労働人口減少により、AI画像処理を用いたデジタル化・自動化によるDXが必要不可欠である。そこで、中小企業でも活用しやすい外観検査DXに役立つAI画像処理の要素技術開発及びシステム化開発を行うとともに、県内企業での産業応用に取組むことで競争力強化を図る。	令和5年度から 令和7年度	21,464千円	事前評価

3 評価項目

- (1) 重点的研究課題の事後評価
 - イ 目標達成度
 - ロ 研究成果
 - ハ 地域への貢献度・波及効果

- (2) 重点的研究課題の事前評価
 - イ 研究目標のニーズ適合性・地域への貢献度
 - ロ 緊急性・優先性
 - ハ 独創性・先進性・優位性
 - ニ 市場性・成長性
 - ホ 実現可能性
 - ヘ 人・予算・設備等の推進体制

4 評価結果

- (1) 重点的研究課題の事後評価
 - イ 清酒製造技術の高度化

優れた研究であった。

- (2) 重点的研究課題の事前評価
 - イ 外観検査DXに資するAI画像処理デジタル技術開発と産業応用

採択したほうが良い。

5 研究課題評価表

別紙のとおり。

研 究 課 題 評 価 表 (事後評価)

課 題 コ ー ド		評価実施日	令和4年11月8日	工業関係試験研究機関評価部会
試験研究課題名	清酒製造技術の高度化			
試験研究機関名	経済商工観光部 産業技術総合センター			
担当部署・担当者名	担当部：食品バイオ技術部 担当リーダー：有住和彦			
研 究 機 関	令和元年度 ～ 令和3年度			

項 目 別 評 価	評価項目 評価基準	評 価			係 数 平 均	比 重	採 点 (点)
	目 標 の 達 成 度		澤田部会長	赤羽副部会長			
S 極めて高い	A	A	A				
A 高い	B	A	S				
B 未達成の部分 はあるが概ね 妥当	————— 非公開 —————						
C やや低い							
D 低い							
研 究 成 果		澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員	80.0	0.3	24.0
S 極めて高い	A	A	A				
A 高い	B	S	A				
B 妥当	————— 非公開 —————						
C やや低い							
D 低い							
地 域 へ の 貢 献 度 ・ 波 及 効 果		澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員	86.7	0.4	34.7
S 大いに期待で きる	S	A	A				
A 期待できる	B	S	S				
B 概ね期待で きる	————— 非公開 —————						
C あまり期待で きない							
D 期待できない							
		合計				1.0	82.7

※採点の計算方法：係数（S=100, A=80, B=60, C=40, D=20）に項目の比重をかけたものを採点とする。

	評 価			数値平均	総合評価
	澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員		
総合評価	A	A	A	4.17	A
	阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員		
	B	S	S		

評価基準

S：極めて優れた研究であった A：優れた研究であった B：妥当な研究であった
 C：有意義ではない研究であった D：成果が乏しい研究であった

※総合評価の算出方法：各部会委員の総合評価を数値「S=5，A=4，B=3，C=2，D=1」に置き換え，その平均値を少数第1位で四捨五入した数値に相当する評価を総合評価とする。

所 見	<p>————— 非公開 —————</p>
--------	------------------------

研究課題評価表(事前評価)

課題コード		評価実施日	令和4年11月8日	工業関係試験研究機関評価部会
試験研究課題名	外観検査DXに資するAI画像処理デジタル技術開発と産業応用			
試験研究機関名	経済商工観光部 産業技術総合センター			
担当部署・担当者名	担当部：機械電子情報技術部 担当リーダー：太田晋一			
研究機関	令和5年度～令和7年度			

項目別評価	評価項目 評価基準	評 価			係 数 平 均	比 重	採点 (点)
		研究目標のニーズ適合性・地域への貢献度 S 極めて高い A 高い B 普通 C やや低い D 低い	澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員	83.3	0.3
A			A	A			
阿部部会委員			佐浦部会委員	菅野部会委員			
B			S	S			
		————— 非公開 —————					
	緊急性・優先性 S 極めて高い A 高い B 普通 C やや低い D 低い	澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員	90.0	0.1	9.0
		S	S	A			
		阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員			
		A	S	A			
		————— 非公開 —————					
	独創性・先進性・優位性 S 極めて高い A 高い B 普通 C やや低い D 低い	澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員	70.0	0.1	7.0
		B	A	A			
		阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員			
		B	A	B			
		————— 非公開 —————					
	市場性・成長性 S 極めて高い A 高い B 普通 C やや低い D 低い	澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員	93.3	0.2	18.7
		A	S	S			
		阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員			
		A	S	S			
		————— 非公開 —————					

実現可能性 S 極めて高い A 高い B 普通 C やや低い D 低い	澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員	70.0	0.2	14.0
	A	A	B			
	阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員			
	B	A	B			
----- 非公開 -----						
人・予算・設備等の推進体制 S 非常に優れている A 優れている B 妥当である C やや不足 D 不足	澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員	56.7	0.1	5.7
	C	A	B			
	阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員			
	B	D	A			
----- 非公開 -----						
				合計	1.0	79.3

※採点の計算方法：係数（S=100，A=80，B=60，C=40，D=20）に項目の比重をかけたものを採点とする。

	評 価			数値平均	総合評価
総合評価	澤田部会長	赤羽副部会長	蛭名部会委員	4.33	A
	A	S	A		
	阿部部会委員	佐浦部会委員	菅野部会委員		
	B	S	S		

評価基準

S：ぜひ採択すべきである A：採択したほうが良い B：計画を見直した上で、採択しても良い
C：採択の必要性は低い D：採択すべきではない

※総合評価の算出方法：各部会委員の総合評価を数値「S=5，A=4，B=3，C=2，D=1」に置き換え、その平均値を少数第1位で四捨五入した数値に相当する評価を総合評価とする。

所 見	----- 非公開 -----				